

はしめに
（世上各種の郵便物が氾濫しておりますが、この書状は営利を目的としたものではなく
また、再々ご連絡することも致しかねますので、なにとぞ最後までお目通しねがいます。

謹啓 全国各地にお住まいの山名氏二千五百家様には、意義ある二千年をお迎えになりましたことと拝察、大賀に存します。

さて、突然ですが、日本史上八百年に亘り光彩を放った『山名氏』の顕彰につき、貴台の御意を得たく一書を呈します。このことはかつて昭和六十年秋に当時の全国電話帳によりご案内したことがありますが、十五年を経た今日、再度意中を表明するものであります。

当会はその当時ご賛同を得た二百名様により、昭和六十一年に『全国山名氏一族会』の牙旗を掲げて進発した一団であります。爾来いささかではございますが、山名氏の足蹟探訪・顕彰や一族の親睦につとめてまいりました。

。全国山名氏一族会総会毎年開催。通算十四回。

。機関誌『山名氏赤松氏研究ノート』発行。通算九号。

。『山名』発行。通算五号。

。研究図書『山名家譜』刊行協賛。一千部。

。『ものがたり 山名氏八百年』刊行。一千部。

。山名八幡宮神馬銅像奉納。（群馬県高崎市山名町）

。山名赤松兩軍陣没諸霊供養塔建立。（兵庫県但馬竹田城跡）

。山名氏歴代尊牌整備奉安。（兵庫県但馬山名寺）

等々で、山名氏歴代英祖もいささか御心とませ給うたかと推量するものであります。

しかしながら、発会以来十五年という歳月は、当然会員の高齢化を招き、会勢の沈滞をまぬがれませんので、この際改めて全国山名氏各位に当会の趣旨を右のごとくご説明申しあげ、新たにご賛同を得ました各々様とともに再出発を
はかりたく存じます。

思いますのに、この『山名』という姓氏は、他の姓——たとえば山田とか山中など——と違い、その源流をたどれば、殆んどが清和源氏山名義範公に帰一するとは斯界の定評であります。茫茫八百年、山名氏各流の上にも盛衰の浪が押し寄せまして、家系の全貌が審らかてないお家もございましょうが、先祖代々継承されました『山名氏』という名譽ある姓氏への感懐を大切に、思いを一にする有志各々が相携えて一堂に会することがかないますならば欣快の上もござい
ません。よろしくご賢察のほどをお願い申し上げます。

- ご入会について
- 1 家系を示す証拠品がなくても、お気軽にお申込ください。
 - 2 同封はがきをお出しくださるだけでけっこうです。
 - 3 会員証・振替用紙をお送りします。
 - 4 入会金五、〇〇〇円、年会費五、〇〇〇円を振替ご送金ください。
 - 5 当会刊行物、総会研究会案内等を随時お送りします。

平成十二年一月吉日

全国山名氏一族会

総 裁	山 名 晴 彦	(小金井市)
会 長	山 名 章	(東京都)
常任理事	山 名 和 雄	(東京都)
常任理事	福 田 徹 夫	(東京都)
事務長	宮 田 靖 國	(西宮市)
事務局	兵庫県美方郡村岡町村岡 山名寺内	

全国山名氏 各位
同族有縁